D-RATS ©NPO法人日本火星協会

D-RATS	©NPO法人日本火星協会				
名称	Desert Research and Technology Studies (Desert RATS)				
	※施設ではなくフィールドテストを行うグループの総称				
国籍及び場所	米国、アリゾナ州北部				
開発機関	NASA				
運用機関	NASA				
施設カテゴリー	□ヒューマンファクター・☑ハードウェアシミュレーション				
体験可能な危険 状態	☑船外活動・☑隔離・☑通信遅延・□明暗周期・□地球からの距離・□精神的ストレス・□重力				
施設概要 (開発年、規模、 特徴等)	1997年から実施しているフィールドテスト。毎年2週間、アリゾナ州北部フラッグスタッフ近郊の砂漠エリアで行われる。特定の施設はなく、ミッションごとにローバー、船外活動服、居住モジュールなど様々な設備や機器を持ち込みテストする。				
施設関連画像					
実施されたプロ グラム/ミッショ ン	 Desert RATS 2006:月・火星を想定したEVAとロボティック運用のデモンストレーション。 Desert RATS 2007:月面を想定した船外活動服やローバーのテスト。 Desert RATS 2008:約10m3サイズの移動式与圧モジュール、Small Pressurized Roverで宇宙飛行士と地質学者の2名が地質調査をしながら3日間過ごす。 Desert RATS 2009: Lunar Electric Roverで宇宙飛行士と地質学者の2名が地質調査をしながら14日間過ごす。 				
	 Desert RATS 2010: 4名のクルーが2つのローバーで移動しながら生活。ドッキングのデモンストレーションや異なる通信手段による管制チームとの運用性を評価。 Desert RATS 2011: 小惑星ミッションを模擬した有人+ロボティクス運用評価や通信技術のテストを実施。7つの異なるシステムやクルー人数の組み合わせがテストされた。クルーはDeep Space Habitatで生活して設備の居住性を確認。 Desert RATS 2012: 砂漠でのフィールドテストではなく、ジョンソン宇宙センターでのモックアップ設備を用いた小惑星ミッションを模擬。 				
	D-RATSでテストされた機器等 - ATHLETE/Tri-ATHLETE (All-Terrain Hex-Legged Extra-Terrestrial Explorer) vehicle - Centaur/Centaur2 (half humanoid, half vehicle robot) - SCOUT (Science, Crew, Operations and Utility Testbed) rover - PRC (Pressurized Rover Compartment) - 船外活動服 - Matilda (autonomous robotic support vehicle) - Remote controlled space tractor-trailer				
	- Chariot - SEV (Space Exploration Vehicle)/Lunar Electric Rover/Small Pressurized Rover - K10 Robots - HDU (Habitat Demonstration Unit)/Pressurized Excursion Module/DSH (Deep Space Habitat) - PUPs (Portable Utility Pallets, mobile charging stations) - PEGS (Planetary Exploration Geophysical Systems) - Robonaut2				
	https://www.nasa.gov/exploration/analogs/desertrats/				
https://www.nasa.gov/hrp/research/analogs/drats					